

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	SafeCT®のノイズ除去処理による early CT sign の描出改善の検討（多施設共同研究）：横断研究
当院の研究責任者 (所属)	西江昭弘 (琉球大学大学院医学研究科放射線診断治療学講座)
他の研究機関および各機関の研究代表者	中頭病院放射線科（上地栄輝）、ハートライフ病院放射線科（岡伊作）
本研究の目的	SafeCT®を用いて急性期脳梗塞患者の頭部 CT 画像のノイズを除去し、early CT sign の検出率が向上するかどうか検討すること
研究実施期間	研究機関の長の許可日（2023年12月20日）～2025年12月31日
調査データ(該当期間)	2018年1月～2022年12月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま 2018年1月～2022年12月に、琉球大学病院、中頭病院、ハートライフ病院で急性期脳梗塞が疑われて頭部 CT、頭部 MRI が施行された患者さんが対象となります。</p> <p>●利用する試料・情報は以下の通りです。 画像データ（頭部 CT、頭部 MRI） 年齢、性別、合併症、既往歴、過去の手術歴、喫煙歴、飲酒歴、高血圧、高脂血症、糖尿病などの患者基本情報 急性期脳梗塞の病型、治療内容、予後、有害事象などの疾患情報</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の研究機関への提供は行いません。
試料・情報の二次利用	本研究で取得した試料・情報の利用は、別の新たな研究に利用する可能性があります。その場合は、再度、倫理委員会へ申請し、研究機関の長の許可を得てから利用します。
個人情報の取り扱い	調査により得られた被験者の情報は匿名化されます。匿名化された情報から、必要な場合に研究対象者（提供者）を識別することができるよう、当該研究対象者と匿名化の際に置き換えられた対応表は、電子カルテシステム内に保管されます。研究協力機関からの情報はパスワードを設定した HDD ないし SSD メモリを利用して授受します。基本的に対応表の印刷は行わず、対応表は機関間で授受しません。もし印刷する必要があった場合は、使用後に直ちにシュレッダーにて破棄し

	ます。論文作成時、また学会発表時には個人が特定できる情報は一切 用いません。
本研究の資金源 (利益相反)	文部科学省科学研究費 本研究は琉球大学利益相反審議部会および協力病院(中頭病院、ハートライ フ病院)の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得 るものとする。
お問い合わせ先	電話：098-895-1162 琉球大学病院放射線部 担当者：與儀 彰
備考	